

「診断用画像処理技術を用いた CR ポータルイメージの画質改善」

研究の意義・目的について

近年の放射線治療の高精度化に伴い、放射線治療前のポータルイメージ(照射位置確認のための高エネルギーX線画像)の重要性はますます高まっています。しかし、一般的にポータルイメージの画質は良くないために、正確かつ迅速な位置確認には観察者の熟練が必要となります。

一方で、画像処理による画質改善研究は診断領域が中心で治療領域では積極的に行われてきませんでした。そこで我々はこの診断領域の画像処理をポータルイメージに適用することで画質改善できるかについて検討するとともに、位置確認精度や位置確認速度への影響についても検討したいと考えています。

研究方法

研究用ファントム、または既に撮影されたポータルイメージに診断用画像処理を適用して画質が改善するか確認します。

予想される利益・不利益について

この研究は既に撮影した画像を使用するため、対象となった患者さんに直接生じる利益はありません。また新たな負担などの不利益もありません。

個人情報の保護について

個人情報を同定できるような情報は使用いたしません。また研究の途中においてもこれらの情報が漏れることのないよう細心の注意を払います。

患者さまへのお願い

この研究は日常の臨床で既に撮影したX線画像を利用します。画像を利用する者は下記の研究責任者、共同研究者ならびに当院と個人情報保護に関する誓約を取り交わした(株)ユニカムノルタ社員に限ります。患者さま又はその代理人から求めがあった場合は、画像の利用を停止しますので、下記「お問い合わせ先」までご連絡ください。研究内容の趣旨をご理解いただき、研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究内容の公表について

本研究結果は学会で発表する予定です。

費用について

この研究に関して患者さま追加でご負担いただく費用はありません。また謝礼もありません。

お問い合わせ先

公益財団法人天理よろづ相談所病院 放射線治療部門

0743-63-5611(8645) 北村 一司(研究責任者)